

科目名	ハングル	科目分類	□専門科目群 ■総合科目群		
			全学科	□必修 ■選択	
			学科	□必修 □選択	
英文表記		開講年次	■1年 □2年 □3年 □4年		
ふりがな	かなもり ふくこ	開講期間	□前期 □後期 ■通年 □集中		
担当者名	金森 福子	実務家教員 担当科目	○	修得単位	4単位
授業のテーマ	国際化時代の今、隣国である韓国の言語をしっかりと読み取り、理解し、より沢山の情報が得られ、異文化についても理解できるようになる。				
到達目標	この授業の単位を修得した場合、次のようなことができるようになる。 1. ハングル文字がしっかりと読めるようになる。 2. 韓国語で自己紹介ができるようになる。 3. 会話の基本となる「誰が、いつ、どこで、何を」が言えるようにある。 4. 辞書やアプリを使って韓国語の文章を調べて、意味が分かるようになる。				
授業概要	1. 8コマの学習でハングル文字が読めるようになりますが、毎回授業の始めに文字の読み書きの復習から始めますので、絶対文字が読めるようになる。 2. 発音の指導に中点を置きますので、意欲のある学生はしっかりと修得できる。 3. 練習問題は講師がチェックする。 4. テストの時はテキスト、ノート、辞書、アプリの持ち込みがOKですので、授業の出席やメモ等は重要である。 5. 成績評価は出席、ノートや教科書の練習問題、テストの成績などを参考にする。				
授業計画					
第1回	ハングルについて、基本母音字と子音の発音	第17回	第19課 一個でいくらですか？ 固有数字、単位名詞、尊敬語		
第2回	発音、基本子音、激音、濃音について	第18回	復習 漢数字、固有数字、曜日、年月日		
第3回	合成母音字、パッチムについて	第19回	第20課 授業は何時からですか？ 時間の言い方、～から～まで		
第4回	連音、ハングル文字の読み書き	第20回	練習、時間の言い方、一日のスケジュールを話す。		
第5回	第10課 私は学生です。 ～は、～です。ですか？	第21回	第21課 写真を撮りました。 用言の過去形、		
第6回	第11課 これはなんですか？ 指示代名詞、否定の表現	第22回	練習、言葉の基本になるものを作る ～は、いつ、どこで、何をしました。		
第7回	第12課 銀行はどこにありますか？ 指示代名詞、存在詞、～と	第23回	第22課 どこに行かれますか？ 動詞や名詞の尊敬語		
第8回	第13課 学校で何をしますか？ 動詞の肯定文と否定文、～を、～で	第24回	練習、尊敬の過去形、 一日のスケジュールを書いてみる。		
第9回	第14課 天気はどうですか？ 形容詞の肯定文と否定文、～より、何の～	第25回	第23課 どこで会いましょうか？ ～しましょうか？～しましょう。		
第10回	第15課 週末に何をしますか？ 曜日の言い方、～しに、～に、	第26回	練習、自己紹介を練習。発表、チェック、		
第11回	第16課 どこに住んでいらっしゃいますか？	第27回	第24課 何がしたいですか？ ～したい。～ですよ！		
第12回	第17課 趣味はなんですか？ 用言と体言のです、ますの日常生活の表現	第28回	不規則の勉強、 練習		
第13回	第18課 誕生日はいつですか？ 漢数字、年月日、単位名詞	第29回	韓国語のアプリの使い方 アプリを使って韓国語の文章を翻訳してみる。		
第14回	復習、曜日、数字、年月日、朗読	第30回	復習、朗読、自己紹介、日記、翻訳（簡単な文章）		
第15回	練習、自己紹介文書く、読む	第31回	復習、朗読、自己紹介、日記、翻訳（簡単な文章）		
第16回	前期定期試験	第32回	後期定期試験		
授業時間外の 学習	1. 必ず勉強した内容を目を通してください。(30分) 2. 授業の前に復習をしますので疑問点などがありましたらメモしておいて質問してください。				

	<p>3. 後半からは毎日韓国語で簡単な日記を書いてください。希望があればチェックします。</p> <p>4. 韓国語の音楽やドラマも勉強に役に立ちますので、活用してください。</p>
履修条件 受講のルール	<p>1. テキストの練習問題が多いので、必ずテキストを持参してください。</p> <p>2. 自己紹介や日記などはノートに書きますので、ノートも必ず持参してください。</p> <p>3. 定期試験はテキスト、ノート、辞書、アプリの使用も可能なので、授業中には必ずノートを取ってください。</p> <p>4. 成績評価は出席、授業中の態度、練習問題やハングル文字が読めるレベルを含めて評価します。</p>
テキスト	<p>発行所 株式会社 白帝社</p> <p>テキスト名 やさしく仕組みがわかる 韓国語初級講義ノート</p> <p>著者 李昌圭</p>
参考文献・資料	辞書またはスマホのアプリをご利用ください。
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> * ハングル文字の読み書きができること。 * 出席状況 * 授業中の態度 * 練習問題や日記、自己紹介 * 定期試験 <p>注：出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金などの全額を納めていない場合は試験を受けることができません。</p>
オフィスアワー	何かの疑問や質問したい場合は必ず事前連絡をお願いします。
成績評価の基準	秀 (100～90点)、 優 (89～80点)、良 (79～70点)、可 (69～60点)、 不可 (59点以下)
実務経験及び実務を活かした授業内容	<p>私は現在秋田市で韓国語中国語教室を運営し、高校や専門学校でも授業をしています。翻訳や通訳もしています。中国や韓国の異文化や生活習慣についても授業中に生かしたいと思います。</p> <p>国際化が進む今、異文化についてもっと理解し、一人の国際人として成長できるように心掛けます。</p>
学生へのメッセージ	<p>韓国語は入門から丁寧に指導します。基礎がなくても大丈夫です。何回も繰り返し復習しますので、ハングル文字が読みたい方、自己紹介ができるようになりたい方、韓国アイドルの歌を覚えたい方、旅行したい方はぜひ授業を受けてください。</p> <p>沢山のご参加をお待ちします。</p>